

南薩教育事務所だより

令和5年6月発行

教職員としての誇りをもって

南薩教育事務所長 摺木 直人

夕方の情報番組を見ていると、県内の二人の女子高校生がスタジオでニュースを読む企画が放送されていた。緊張した面持ちではあったが、聞きやすく、立派にその役を務めていた。その姿を見て、高校の放送部で活動した教え子のことを思い出す。

その生徒が放送部に入ったきっかけは、中学校の一人の教師が発した何気ない一言だった。別の教師との会話を聞いていた教師がその声に惹かれ、「君はいい声しているね。」と、学校行事の放送係にスカウトした。その後、高校へ進学したその生徒は放送部に入り、高校放送コンテストの鹿児島県大会で優勝したとの知らせも届いた。一人の教師から認められた経験が、自らの適性を認識させ、その才能を開花させた。

教師の仕事は魅力にあふれている。授業の中で新しい知識を習得したときの子供たちの輝く目。学校行事や部活動など目標に向かって力を合わせ、やり遂げた後にあふれ出る涙。時には思うようにいかない生徒とともに悩み、真剣に落ち込むこともある。また、長時間労働が問題視され、働き方改革が早急の課題となっている面もあるが、子供たちの成長に寄り添えることは教師冥利に尽きることであり、学校現場を離れてつくづく感じる。

今年3月、ある企業が発表した調査結果によると、「大人になったらなりたい職業」ランキングで教師の順位は小学校女子と中学校男子で第7位、中学校女子と高校の男女それぞれで第4位であった。実際に教師と接している多くの子供たちが目の前の教師の姿から「なりたい職業」に選んでおり、教師という職業が子供たちの目には魅力的に映っていることを確信する。本地区約900人の教職員の方々にも、多忙な中、様々な教育活動にご尽力いただいていることに感謝申し上げるとともに、自ら選んだこの教師という職に対する誇りをもって、「夢や希望を実現し未来を担う鹿児島の人づくり」に当たっていただきたいと切に願う。

「安全運転の心構え」

昨年度も、県内で多くの教職員の交通違反等が発生しております。特に1学期での発生が多かったため、改めて下記の内容を踏まえ、指定速度を意識した運転や時間に余裕を持った行動などを徹底しましょう！

- 1 人命の尊さを知る。
- 2 交通ルールを理解し守る。
- 3 注意力を集中させる（運転に専念する）。
- 4 譲り合いの気持ちを持つ。
- 5 「かもしれない」運転を心掛ける。
- 6 心身の状態を良好に保つ。
- 7 運転技能を過信するな！

全ての児童生徒の学びを保障するために

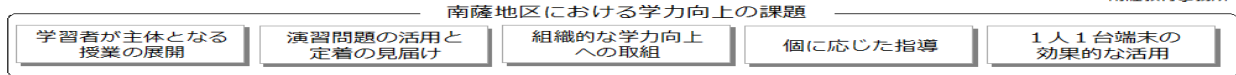
南薩地区の学力向上のテーマは、「子供一人一人の学びを成立させ、力を付ける授業づくり」とし、学習者主体の授業づくりや、演習問題の活用と見届けを重点として、取り組んでまいります。

そのために、教員の授業力向上のための、コアスクールプロジェクトや、コアティーチャーネットワークプロジェクト会議の充実を図っていきます。その中で、学びに向かう力を高める「振り返り」についても研究し、学校へ還元できるようにしていきます。

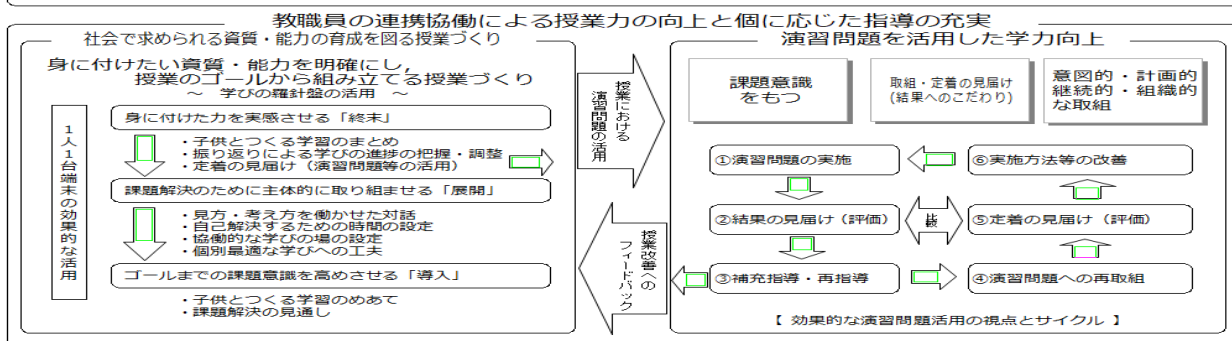
また、確かな学力の定着のために、演習問題の活用と見届けの徹底をお願いします。

南薩地区の学力向上

南薩教育事務所



子供一人一人の学びを成立させ、力を付ける授業づくり



【地区学力向上グランドデザイン（事務所ホームページ掲載）】

楽しい体育の授業を目指して

今後どのようなことがあれば体育の授業が楽しくなると思うか（複数回答可）（%）

	小5男	小5女	中2男	中2女
運動のコツやポイントをわかりやすく教えてもらえたら	27.3	16.5	7.4	8.0
できないかったことができるようになったら	42.9	31.9	26.1	35.2
自分に合った場やルールが用意されていたら	21.5	44.7	14.7	17.8
タブレットなどのICTを活用できたら	10.0	5.0	15.2	5.7
先生にほめてもらえたら	0.0	5.2	0.0	1.5
友達に認めてもらえたら	16.3	13.3	0.0	3.0
先生に個別に教えてもらえたら	0.0	4.8	1.8	3.6
自分のペースで行うことができたら	44.4	73.8	36.2	55.2
人と比べられなかったら	44.4	53.3	21.9	39.1
その他	24.6	18.1	38.6	31.6

上記は、体力・運動能力調査の質問紙の南薩地区の結果です。児童生徒は、他人と比較されない、自分に合った活動を求めていることが分かります。振り返り時に「分かった」、「できた」と達成感を感じさせるために、全体での目標の他に個々の課題解決に向けた目標を立てさせましょう。また、運動の苦手な児童生徒へは、スモールステップの目標を紹介しましょう。

社会教育の推進

1 「親子手帳」の活用

今年度も新小学1年生と小・中学校の全学級担任の先生方に配布しました。学級PTAや家庭教育学級等で話題にいただき、各家庭での積極的な活用につなげてください。



2 「かごしま地域学校協働活動」の推進

令和2年度より「かごしま学校応援団」から「かごしま地域学校協働活動」に名称を変え、取組が進められています。令和5年度は、教職員向けにリーフレットが作成され、配布されました。これまで以上に地域と連携し、充実した取組になることを期待しています。

生徒指導提要から見えること

1 「発達支持的生徒指導」の推進

- 全ての児童生徒を対象に、学校教育の目標の実現に向けて、教育課程内外の全ての教育活動において心身ともに健やかな成長を支援していきます。
- 日常的な教職員の児童生徒への声かけ、励まし、賞賛、対話、及び授業や行事等を通じた個と集団への働きかけにより、自己肯定感の向上を図っていきます。

2 「魅力ある学校づくり」の推進

- 自分という存在が大事にされ、心の居場所があり、教師や友達との絆がある学校を目指します。
- どの児童生徒も主体的・意欲的に授業に取り組めて安心して過ごせる学校づくりを目指します。

発達支持的生徒指導
教職員集団の同僚性
教科の指導と生徒指導の一体化した授業づくり
全ての教職員による共通理解・共通実践
PDCAサイクルに基づく運営

↓
魅力ある学校づくり

「転入職員・新任職員の紹介」

○総務課

ふるさと南薩地区での初めての勤務となります。ふるさとの教育振興のために微力ながら尽力して参ります。(摺木)



南薩地区の教育環境の充実にも少しでも貢献できるよう頑張ります。(新原)

行政での仕事は初めてで不慣れな部分もありますが、職員の皆さんをサポートできるように頑張ります。(隈元)



職員の皆さんがスムーズに仕事に取り組めるよう業務に努めてまいります。(辰野)

○指導課

南薩地区の児童生徒の学びを保障し、市教委、学校と連携した学力向上等に努めていきます。(川畑)



南薩地区の発展と児童生徒の健やかな育成に貢献できるように頑張ります。(田中)

南薩の児童生徒全員が楽しく元気よく体を動かし、運動が大好きと感じられるよう頑張ります。(橋口)



よろしくお願ひします。